



岡山県マスコット「うらっち」

誰もが通いたくなる魅力ある学校づくり

働き方改革を「自分事」に！

教職員が心身ともに健康で充実した生活を送ることが、教育の質を維持・向上させ、全ての子どもたちへのよりよい教育の実現につながることから、県教育委員会では、これまでも「働き方改革」を推進してきましたが、その取組の成果等を踏まえ、働き方改革をさらに推進していくに当たり「令和7～10年度 学校における働き方改革重点取組」を策定しました。

今回は、教育委員会や学校が自分事として働き方改革を進めている好事例を紹介します。

Pick Up!

業務アシスタント連絡協議会の開催

和気町教育委員会では、町教委主催で教師業務アシスタントと各学校のマネジメント担当者による情報交換の会を開催しました。

町教委からは、マネジメント担当者に意識して欲しい視点として次の4つが示されました。

- ①【把握】誰が何を依頼しているのか
- ②【目的】依頼内容・方法は適切か、子どものためになっているか
- ③【見通し】依頼時期・納期設定は適切か
- ④【検証】時間対効果、費用対効果は適切か

また、教師業務アシスタントからは、在庫が一目で確認できる消耗品の整理の工夫などが紹介されました。



ディスプレイの工夫
(協議会持参資料から)

参加者の声

教職員からの依頼状況（時期・内容等）をしっかりと把握し、今後は、業務負担の大きい先生に対する個への支援につなげたい。

校務検討プロジェクトチームの設置

県立岡山工業高校では、学校経営計画を基に、業務の平準化と過重業務負担の軽減に向けたプロジェクトチームを設置しました。

6月上旬にGoogleフォームを活用して実施したアンケート結果を基に、業務の精選や校務分掌の再編について、話し合いを進めています。



PT会のような

参加者の声

- ・業務について「〇〇だったらいいのに…」と思うところがあった。改善に向けた意見を公式に出せる場が出来たので参加しようと思った。
- ・1つの行事に対しても、教員の中でいろいろな思いがあるが、折り合いをつけながら業務改善の提案をしたい。

校務検討のためのアンケート

本校の校務改善策を決定するにあたって校務改善の必要を把握し、業務改善の現状や今後の方向性を調査します。

※回答は匿名です。

※回答期限は1週間です。

1. 性別は？

○男子 ☐ ○女子 ☐

2. 性別

○男子 ☐ ○女子 ☐

3. 所属は？

○1年級 ☐ ○2年級 ☐ ○3年級 ☐ ○4年級 ☐ ○5年級 ☐ ○6年級 ☐ ○教員 ☐ ○その他 ☐

アンケート

【文部科学大臣メッセージ】

令和7年6月にいわゆる「給特法」等の改正法が成立し、文部科学大臣からメッセージが発表されています。

メッセージには、地域や保護者の方に向けて、さらなるご理解・ご協力をお願いする内容が含まれていますので、必要に応じて、PTA総会や学校運営協議会等でご活用ください。



メッセージ